

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 27 年 3 月 12 日
主管学校名	山形大学附属幼稚園
P T A 会長名	浅野 和宏

実施概要	主管校	山形大学附属幼稚園
	交流校	山形大学特別支援学校・山形大学
	実施活動名	バザー参加&メンテナンス
	実施日時	平成 26 年 8 月 17 日 12 月 2・3 日 平成 27 年 2 月 18・19・24 日
	実施場所	山形大学 山形イオン南店 山形大学附属幼稚園
	実施目的	附属幼稚園児が保護者と一緒に参加することを通して特別支援教育への理解を深める。 附属学校園の幼児と生徒間の交流を図る。
	実施内容	① 特別支援学校主催のバザーの案内 ② バザー参加 ③ 幼稚園において支援学校の生徒による購入商品のメンテナンス
	実施方法	① ふよう夏まつりで展示紹介し、支援学校の製品が購入できるバザーを案内する ② 附属幼稚園児と保護者が、特別支援学校主催のバザーに参加。園 P T A としてはベンチ等を購入、園に寄付する。 ③ 支援学校の生徒が、附属幼稚園に来てベンチのメンテナンスを行う。園児もその様子を参観するなどの交流を図る。
	参加人数	200 名

報告事項	内容	①ふよう夏祭りにおいて、附属学校園の交流活動展示コーナーを開設した。 特別支援学校高等部の生徒さんの製作の様子や、前年度特別支援学校より購入したベンチで遊ぶ附属幼稚園の園児の様子を写真等で紹介するとともに、特別支援学校の主催バザーの商品を展示した。 ②園保護者に対し、特別支援学校のバザーについて、幼稚園のおたよりやポスターを通して案内をした。 ③特別支援学校主催山形大学キャンパスでのバザーに、附属幼稚園教諭引率の下、4 歳児が特別支援学校のバスを利用して参加した。園児は、各自の財布に 100 円を持参し、品物を 1 つ選び購入した。保護者はバザーの会場へ現地集合して、園児と合流し、バザーへ参加した。
	結果	①保護者は、附属間で交流活動が盛んに行われていることを知ることが出来た。特別支援学校さんで作られている製品が、園生活で活用されていることを知るとともに、支援学校を身近に感じる事ができた。 ②園児は、プロジェクトでいただいた 100 円の入った自分の財布を大事もち、バスでの行き来を含め、買い物を楽しむことが出来た。バザーでは、特別支援学校の生徒が作った「しおり」「コースター」「ハガキ」「アクリルスポンジ」「写真立て」などの多くの小物類の中から、100 円以内で自分の好きな品物を 1 つ選び、高等部生徒さんとやりとりしながら購入した。自分で本物のお金を財布からだし、特別支援学校の生徒に手渡し、買い物体験をすることができた。 保護者たちはバザーの品物にとっても感心し、特に「木製ベンチ」や「木製ラック」などの大物を作る工程について質問をするなど、特別支援学校の生徒や先生との交流を図ることができた。
	所感	園外保育としてバスに乗って、バザーの会場である山形大学へ行き、園児たちは少々緊張していたが、特別支援学校の方々や大学関係者のあたたかい協力もあり、最終的にはバザーを楽しむことができたようだ。バザーへ参加することで、特別支援学校生徒との交流ができ、園児、保護者ともに、特別支援学校への理解が深まった。 保護者からはバザーを開催してくださった方々への感謝の声が多数あったので、来年度もぜひ継続して行っていきたい。

添付書類	
------	--

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日

学校名

山形大学附属幼稚園

氏名

子どもの声や様子からひろいました。

〈バザー〉

附属幼稚園 4 歳児

- ・バスに乗って、バザーに行ったのが楽しかった。
- ・「これください」と言ってお店のお兄さんに言えてうれしかったよ。
- ・「10 円玉五枚です」と、お姉さんが教えてくれました。
- ・お金を使って初めてお買い物をしたので、ドキドキしました。
- ・いろいろなものがあつたので、どれを買うか迷いました。
- ・きれいなコースターを買えて嬉しかったよ。
- ・メモを貼るボードを買ったよ。楽しかった。

〈メンテナンス・ベンチ〉

附属幼稚園 3～5 歳児

- ・お部屋のベンチがなくなって心配したけど、遊戯室で直してくれていて安心したよ。
- ・いつも使っているベンチ、特別支援学校のお兄さんが作ってくれたんだね。
- ・直してくれてありがとう。ぎこぎこしなくなったよ。
- ・お兄さんが直してくれるところ、カッコよかったよ。
- ・どんなふうに直すのか見られて、面白かったよ。ずっと見ていたかったなあ。
- ・（部屋にある木の）積み木も、直してもらってありがとう。よかった。
- ・新しくなったベンチ、今度は足が（地面に）つくよ。
- ・すべすべして気持ちいいね。
- ・大切に使いたいです。

特別支援学校 高等部生徒

- ・（園児が見ていたのがんばってずっと）ヤスリをかけて、手がしびれました。
- ・園児が近くにきたので、危なくないようにして作業しました。
- ・園児が見てくれて、がんばりがいがありました。

カンガルーシップ活動
共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 27 年 3 月 12 日
学校名	山形大学附属幼稚園
氏名	

活動に参加しての感想

- ① バザーでは、日頃、幼稚園で使われている商品（ベンチ・カレンダー）が、たくさん売っており、実際に作られた学生さんが一生懸命接客し、園児や私達に対応して下さる姿が、さらにその品物を大事にしようという気持ちを芽生えさせてくれました（私は木の大型おもちゃ箱を購入）。また、使用中のベンチをメンテナンスに幼稚園に来て下さった事で、特に年長児は、何か手伝いたい！自分も役割をと、支援学校のお兄さん達に積極的に触れ合いにいき、みんなでベンチを運び、そのベンチを直す作業を真近で見えていました。自分達が座りやすい高さにリメイクしていただき、まるで新しい物にかわったような感じもし、子供たちは、物を大事にする気持ちが強まったのではないかと思います。
- 支援学校の生徒さん達の集中力にも驚かされました。参観させていただきありがとうございました。
- ② 幼稚園で使用しているベンチが汚れ、木目が荒れていたり、釘が出ている、高さが合わない等がありました。
- 支援学校の学生さんにメンテナンスに来て頂き、ヤスリをかけたり、釘を打ち込み、子供達が怪我をしないようにボンドを埋め込んだりと、細かい作業を丁寧に行う姿を参観させて頂きました。
- 子供達も、普段なかなか見る事のない作業を、真剣に食い入るように見ていました。
- 人の手で作る事のありがたさや、壊れたら捨てるのではなく、直して、物を長く大事に使っていく事の大切さを知る、良い機会になったのではないかと思います。参観させていただき大変ありがとうございました。
- ③ メンテナンスを目の前でしていただいたことによって、子供達は物を大事にする心が育つように感じた。壊れたら捨てるではなく、直して使う。日頃、なかなかできていないので、とてもいい経験・体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ④ バザーでは、一人一人の生徒さんが役割をもって、一生懸命接客をしてくれていた。園児にも優しく相手してれて、嬉しそうな、満足そうな子供達を見れたのもよかった。バスでみんなで大学へ行くという経験も良かったと思う。







